

共翔

第23号



目次

【巻頭言】 図書館長 柴田隆司……………2

【アクティブラーニングの支援システム】 学術・情報部長 野本明成……………4

【図書館活動報告】 ……………6

【図書館セミナー報告】

「図書館セミナーの手伝いに参加して」 井ノ下真優……………7

【ブックハンティング】

・第2回ブックハンティング報告……………8

「ブックハンティング体験記」 遠藤理子……………9

【ブックガイド】 ……………10

【ユーザーズガイド】

・My Library機能について……………12

・文庫の探し方……………13

・e-Bookライブラリーリモートアクセスのご案内 ……………14

【利用者へのメッセージ】 開催予告……………16



巻頭言

大学で学ぶとは — 社会が何を求めているか、そして、図書館の将来

図書館長 柴田 隆司



① 社会が大学教育に何を求めているか

大学紛争が華やかかりし頃、1970年代には、大学の自治は当然のことと看做されていました。産学協同は癒着の原因である、と糾弾されていたように思います。大学の卒業生は就職先の企業等で研修や on the job training により経験を積んでいくことが許されていましたし、そのような教育を受けていたように思います。

しかし、現在は、大学運営ではすみやかな対応がなされるよう学長のリーダーシップが重要視されていますし、産官学協同により効率的な研究と事業化が求められているのが現状です。就職先からは大学の卒業生に即戦力が求められています。

「学士課程教育の構築に向けて」の中央教育審議会答申では、学士力に関する主な内容を以下に定義しています。

① 知識・理解

専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解（多文化の異文化に関する知識の理解，人類の文化・社会と自然に関する知識の理解）

② 汎用的技能

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能（コミュニケーション・スキル，数量的スキル，情報リテラシー，論理的思考力，問題解決力）

③ 態度・志向性

自己管理能力，チームワーク・リーダーシップ，倫理観，市民としての社会的責任，生涯学習力

④ 統合的な学習経験と創造的思考力

自らが立てた新たな課題を解決する能力
上記の能力習得を実現するためには、大学における高等教育の在り方に改善が求められます。

⑤ 大学が為すべき教育とは：

従来は、講義を受動的に聞き、定期試験では求められる知識について、どちらかという知識の有無を問うような形で試験がなされ、単位が認められていました。

現在では、問題解決能力が求められているわけですから、そのような能力開発が求められます。これからは、必要な知識の上に立って、問題点を発見し、それに対する解決策を提示できるような能力が求められていますので、より、講義内容において具体性が求められます。将来に遭遇するであろう問題点に対し、すべてを大学がカバー出来るはずもありませんので、求められている問題解決能力はそのための能力であり、定義が広いものとなってしまいます。

また、個人の能力にも限界があるわけですから、問題解決に対してはチームで対応することも求められています。そのためにはチーム間でのコミュニケーション能力が絶対に必要になってきます。

以上の点から、学生が主体的に学ぶ姿勢を身につける教育方法が求められます。いわゆる、アクティブ・ラーニングです。『主体的学修』という和訳があてられている

る場合が多いようです。前回の共翔にもアクティブ・ラーニングに関する記事が掲載されております。ご覧いただければご理解が深まるものと思います。

具体的には、講義で問題点を提示し、学生に調べ、考える時間を与えます。今回の講義で、学生の調査した内容を発表してもらい、情報共有をしていくスタイルをとります。解決策の提示を求めれば、問題解決能力の育成に繋がるものと思われれます。

チームで対応する場合は、調査の分担、情報共有、解決策の提案などを話し合うわけですから、そこでは、副次的に、コミュニケーション能力も培われていくものと思われれます。

このような学習方法をとるアクティブ・ラーニングには、従来の講義法では対応できないところも出てきますので、それなりの工夫が必要となってきます。

また、別の意味で、講義室以外で学生が学びあう場所が必要となってきます。学生が共同で学修する場所として、いわゆる、ラーニング・コモンズという、学生同士で話し合える・調べあえる場所がそれに当たります。就実大学・就実短期大学では、新設されたS館やT館、L館、大学図書館4階、薬学棟2階の学習支援室などが該当し、パソコンが設置されています。学生の皆さんにあっては大いに利用していただきたい場所です。

学生の評価としては、従来の試験方法、すなわち、知識の有無を問う試験では点数化しやすかったのですが、能力の評価には工夫すべき点が発生します。最近では、「ルーブリック」を用いて学生を評価するという方法が着目されています。これは、知識の有無、関連性の理解、応用力の有無などの点に着目して評価するものです。これを学生に判りやすく指標として公開します。学生の立場からは、どのようなことが出来れば、どのような評価がなされるかが判り、学習の目標が明確化されます。

図書館の在り方について：

図書館を利用するイメージとして、私は「知識の森の中で時空を超えて一人、散策する」というイメージを持っています。静寂の中にも新しい発見がある、新しい興奮がある、と言い換えてもよいか

もしれません。でも、大きな書店に参りますと、喫茶店が備え付けられて、ゆったり本を選ぶことが出来ます。そのせいか、図書館でも飲食をと求める希望が散見されます。さすがに食事を認めている大学図書館は無いようですが、飲み物は場所を限定して認めている大学図書館は幾つかあるようです。

また、上述したように、話し合える場所を図書館にも、との要望があります。本学図書館では場所を限定して対応しております。それ以外の場所は「サイレント・スペース」として従来通り、利用していただいています。

また、図書館は学生のみならず、教員も利用します。教育・研究支援として、図書整備を例年実施しております。さらに電子ジャーナル、e-ブック、電子辞書なども整備しています。

アクティブ・ラーニングへの対応として、図書館からは基礎的な図書の推薦や情報検索方法の整備があります。これらの点から、本年度は図書館から各学科の教員に、学生が知っておいた方が良い検索サイト・データベース、読んでおいた方が良い図書の紹介などについて、アンケート調査を実施しました。これらの集計結果は、図書館のホームページに掲載していく予定です。ぜひ、ご参考になさってください。

本年度においては、下記の点を改善し、図書館を利用しやすくしました。

- ①パソコン台数を7台増設、②シラバスに記載された教科書・参考書の更新、③机等の配置の見直し、④図書館開館日数の増加、⑤話題の図書の紹介特集など

また、図書館開催の行事として、下記の行事を開催しました。

- ①ブックハンティング、②図書のリユース本譲渡会、③図書館セミナー などです。別のページで紹介があります。ご覧ください。

いずれにおいても、図書館は利用していただかなければ、情報発信基地としての存在価値を発揮できません。皆様には気軽に利用していただき、新しい知的好奇心を満足していただきたく思います。また、より利用しやすい図書館になるために、図書館員に要望をお伝えください。関係部署と相談して改善できることは実施していく所存です。

アクティブラーニングの 支援システム

学術・情報部長 野本 明成



アクティブラーニングは、文部科学省中央教育審議会の答申に基づき、より一層大学教育の質の保証が求められる中で、近年とみに盛んになりつつあるようです。アクティブラーニングとは、よく知られているように「伝統的な教員による一方向的な講義形式とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称」として定義されており、「発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれていますが、教室内でのディスカッション、ディベート、グループワークなどを行うことでも取り入れられています。」¹⁾

また、それを推進するためには、アクティブラーニング支援のための学習環境が必要であり、「教育棟、教室などの学習環境を再設計し、ICT(Information Communication Technology)なども活用して、学生の能動的な学習を支援しようとする」ことが研究されています。それらは、「元来記憶中心型の<学び>ではなく、自ら情報を収集し他人との議論を通じて、情報を知へと昇華させていくような頭の使い方、活動の仕方を主眼に置いて」²⁾ います。

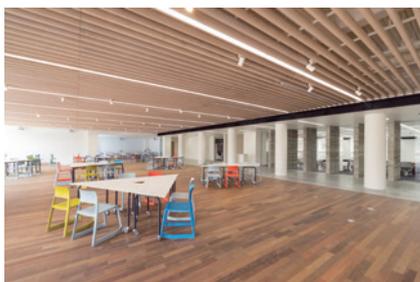
たとえば、ラーニング・コモンズと呼ばれる学習環境は、問題解決型の学習に合わせグループでミーティングしたり、プレゼンテーションなどを支援する ICT 機器を備えた空間により可能となります。そのためにキャンパス内での Wi-Fi 環境を備える必要があります。また、大教室での双方向対話型講義を実現するために学生からのリアルタイムの質問を受け付けるシステムも開発されています。さらに、学生が基礎学習や自学自習を行

うためのシステムも開発されており、それらを使用して宿題・課題を課外授業外システムも開発されています。

本学においても、アクティブラーニング・ワーキンググループが本学における取組について調査し、その結果を『就実論叢』第44号³⁾に掲載しています。

それでは具体的に本学におけるアクティブラーニングの学習環境を取り上げ、どの程度進みつつあるのかについて、設備、支援システムについてお話ししようと思います。

まず、ラーニング・コモンズについては学生が自由に議論できる空間を確保しており、無線 LAN が整備されつつあるとともに、プレゼンテーションルームも備えています。

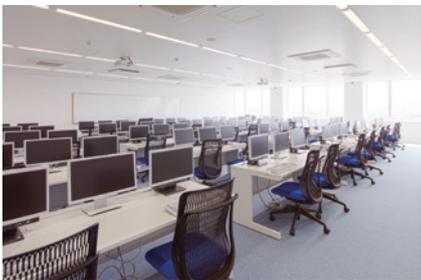


また、大講義室においては、複数のスクリーンが用意されており、PC からのプレゼン資料の投影を行ったり、DVD やブルーレイ等からの動画が再生されるとともに、書画カメラを使用した多様なプレゼンテーションが行われています。ここでは、教員からの一方的な知識の伝達だけでなく、学生からのリアルな質問を受け付ける shuwriter (シュイッター) と呼ばれるシステム⁴⁾ が稼働していま

す。このシステムは、授業中に理解できなかったり、質問がある場合に学生の持つスマホ等から自由に反応することが可能であり、授業の双方向化に役立っています。このシステムは、本学の情報センターによって開発されたものであり、現在数人の教員によって使用されるとともに、他大学の教員にも開放されており試用されています。この機能の使用による学生の反応がアンケートから明らかにされており、「授業が楽しくなる」「質問がしやすくなる」「授業内容への興味が深まる」「授業の雰囲気がよくなる」「授業内容への理解が深まる」という結果が報告されています。このことから大教室においても双方向可能な講義が可能であることが示されています。



さらに、本学においても総合学習支援システムとして、「eラーニングシステム(WebClass) + 出席管理システム」が稼働しており、「eポートフォリオシステム」「学生カルテシステム」が試用されつつあります⁵⁾。



「eラーニングシステム」は、授業の資料配布、練習問題、課題提出、グループワークに活用されるとともに、出席管理システムと連動し、学生の出欠状況を把握し、指導につなげています。

「eポートフォリオシステム」は、学生生活の目標や達成度を学生が自己評価

し、アドバイザーや教職員、SAがレスポンスして学生生活のPDCAサイクルを創出するシステムであり、徐々に具体化しつつあります。

就実
eポ
ート
フォ
リオ
オシ
ステ
ム

「学生カルテシステム」は、一人一人の学生の状況を一覧できる機能を有しており、本人、アドバイザー（担任）やその他の教職員も閲覧でき、個人面談や相談対応に活用でき、その記録も残すことができるように設計されています。

このような学生支援システムを稼働することにより、よりきめ細かい学習指導を行い、「大学教育の質の保証」を確保することを目指しています。

【参考文献】

1. 「アクティブラーニングの環境整備」 林一雅著、『21世紀教育フォーラム』9、2014年。
2. 「ICTを活用した学習支援の意義：Ploneを使った実践と運用を例に」 石田千見著、『高等教育と学生支援』第1号、2010年。
3. 「就実大学・就実短期大学におけるアクティブラーニング・ワーキンググループの取組報告」 就実大学・就実短期大学アクティブラーニング・ワーキンググループ著、『就実論叢』第44号、2015年2月。
4. 「携帯端末向け短文投稿システムを活用するマルチスクリーン環境での授業展開」 中西裕・伊丹健治著、平成27年度教育改革ICT戦略大会、2015年9月。
5. 「「就実e学生支援システム」仕様案」 2014年2月。

図書館活動報告

4月

新入生対象図書館ガイダンス
ゼミ生対象図書館利用案内(~6月)
リユース本譲渡会
企画展示「フェルメール展」



6月

ブックハンティング (学生協働)
企画展示「就活特集 by ブックシェアサークル」
(学生協働)



7月

企画
「図書館で願い事(七夕)」

10月

リユース本譲渡会
図書館セミナー (学生協働)
→学生体験記 p.7

11月

ブックハンティング (学生協働)
→学生体験記 p.9
一般雑誌アンケート

12月

企画展示「文庫本を読もう！」(学生協働)



1月

マナー up 月間

2月

一般雑誌譲渡会

10月31日(土)、第6回となる今年度の図書館セミナーは、本学人文科学部の土井通弘教授による講演「仏像は本当に<仏>の仏像―見方と意義―」と、図書館セミナー初となる学生協働として、博物館学芸員課程履修者と図書館サポーターによる展示説明や館内案内を行いました。図書館サポーターとして活躍してくれた、井ノ下さんのご報告です。

「図書館セミナーの手伝いに参加して」

教育心理学科 井ノ下 真優



図書館セミナーの手伝いに参加したきっかけは、図書館職員になりたいと考えているため図書館に関わることであれば少しでも参加したいと思ったからです。そして、今後活かせるらいいと思い参加しました。

私は、会場受付と土井先生の講演後に図書館3階の案内をすることになりました。図書館案内をお願いされた時に「案内なんてしたことないのに出来るかな」と不安を感じました。しかし、「これもひとつの経験としてやってみよう」と考え引き受けることにしました。

案内をするにあたって、原稿作りをしました。そのために図書館を改めて歩きまわりました。すると、「このように書架が並んでいたんだ」という新たな発見があり、図書館案内の依頼を受けてよかったと感じました。ところが、原稿を作る事は思った以上に難しく、10分間の持ち時間でどう案内すればよいだらうと悩みました。後日、原稿を元に図書館の方と練習をしてみると、10分もかからずに案内が終わってしまいました。それからまた、原稿を練り直し「どうにかならう！」という心構えで当日挑みました。

当日はまず、会場受付をしました。受付では名簿で講演参加者の方の名前を確認し、資料とお茶を渡しました。3人で

分担しながらだったのでスムーズに受付が出来ました。受付後は土井先生の講演を聞き、講演終了後は図書館2階に3つのブースを設け、日本各地の古寺の説明が行われました。この説明は博物館学芸員課程を履修している学生達が、詳しく分かりやすい説明をしていて、すごいなと思いながら聞きました。古寺の説明が終わると、私が担当する3階部分の図書館案内です。複数人のグループ単位で館内を歩きながら案内したため、途中で棚の前に止まる人がいたり列がバラバラになってしまったりし、歩きながらの案内の難しさを痛感しました。また、本学図書館の蔵書数を聞かれて答えられず、図書館の方に聞きに行くということがあります。案内する場所だけでなく図書館全体のことも知っておく必要があることも分かりました。反省する点も多いですが、案内している時は楽しく、もっと紹介したい！と感じました。今回は本当にいい経験になったと思います。

図書館セミナーの手伝いに参加して、「まずは何事にも挑戦してみる」ことを今後に活かしたいと思いました。また、図書館案内での発見や反省を活かして図書館についてもっと勉強していきたいです。



第2回

ブックハンティング報告



H26年度より始めたブックハンティングを、今年度は夏と秋の2回行いました。

秋には初めて、図書館ブックフェアに参加しました。平日の夕方からの開催で、あいにく雨模様でしたが、参加予定の学生さんは欠席することなく、思い思いに本を手にとり、じっくり選んでいました。図書館ブックフェアは、事前に版元さんが図書館用として、選んだコレクションが並んでいるので、書店とはまた違った醍醐味がありました。少し高額な図書が多かったので、選書限度額が決まっている学生さんには残念でした。

選書の後にはPOPの作成をしました。夏開催は、図書の納品が、試験やレポートの忙しい時期と重なってしまい、大変だったようですが、それでも図書の内容を的確に表現した、個性あふれるPOPができていました。新着図書コーナーに図書と共に展示し、多くの利用者を楽しませていました。

まだまだ参加者は少ないですが、多くの学生さんに参加していただき、図書を選ぶ楽しさを、PRする力、選んだ図書が貸し出されていく喜びを味わっていただきたいと願っています。

選んだ本の一覧はホームページで紹介しています。今回は学生さんだけでも合計93冊の図書を選んでいただきました。



夏

【1回目】実施日：6月20日(土)

場所：丸善 岡山シンフォニービル店
参加者 学生6名+教職員5名

【2回目】実施日：6月27日(土)

場所：紀伊國屋書店 クレド岡山店
参加者 学生4名+教職員4名



秋

【1回目】実施日：11月14日(土)

場所：紀伊國屋書店 クレド岡山店
参加者 学生4名+教職員3名

【2回目】実施日：11月18日(水)

図書館ブックフェアに参加 場所：ZIPアリーナ
参加者 学生5名+職員2名



ブックハンティングとは？

書店で好きな本を選べるイベントです。選んだ本は図書館の書架に並び、優先的に貸出もでき、選書額の範囲なら何冊でも選ぶことができます。

これは、学生協働(図書館業務の一端を、職員とともに、利用者でもある学生が担う活動)の一環で、学生の主体的な学びへのきっかけとなることを期待しています。



ブックハンティング体験記

教育心理学科 遠藤 理子

平成26年度から初めての試みとして実施されたブックハンティングは、今年度も6月と11月にそれぞれ2回に分けて実施されました。ブックハンティングとは、書店等で自分の好きな本を選書し、選書した本は図書館の蔵書として購入して頂けるというイベントです。私は今回初めてのイベントに参加しました。ここでは、このイベントの魅力をご紹介します。

一番魅力的な点は、何とんでも自分の好きな本を選べるという点であると思います。私自身はデザインについての本が好きだったので、デザインについての本を多く選書しましたが、参加された方々は小説一つとっても、恋愛ものやSFなど人それぞれの好みで選書してしま

た。自分自身の手で、図書館を好みの場所に作り上げられる事はとても嬉しい事のように思います。もう一つ魅力的な点は、学習の手助けになる点だと思えます。自身の学びたい事についての本を選書し、学習の利便を良くする手助けにできる。知識を深めるという本ならではの用途を生かせる事は、本が好き人間としても喜ばしいです。

ブックハンティングは以前から参加している人は勿論のこと、新たに参加して下さる方々が加わる事で、私達と出会う本の種類も増えていきます。皆様もぜひブックハンティングに参加して、自分自身まだ見たことのない新たな本との出会いを求めてみてはいかがでしょうか。

P.O.P

P.O.P



田中芳樹『銀河英雄伝説』（創元SF文庫）



いつの時代にも英雄がいるわけではないが、混乱の時代には必ず英雄がやってきては時代を変革してゆく。本書は人類が銀河系に出ている争いが絶えない時代に現れた二人の英雄ラインハルト・フォン・ローエングラムとヤン・ウェンリー

が織りなすスペースオペラです。ラインハルトは勝てば勝つほど立場と権力は強力になり、ヤンは勝てば勝つほど立場は悪くなっていく。常勝と不敗という対比もさることながら、戦略の天才と戦術の天才という対比も面白いポイントです。

（総合歴史学科 元川正隆）

ジャワハルラル・ネルー著、大山聰訳『父が子に語る世界歴史』（みすず書房）



本書はインドの初代首相であり、独立運動の指導者ネルーが獄中より幼い一人娘へ送った200通の手紙を全8冊の書籍に纏めたものである。

独立運動による周期的な投獄で、娘のインディアに対する教育の時間をつくってやれなかったネルーが手紙を

通して、彼女にどのような人間に育ててほしいか、歴史から何を学ばよいかと語りかけており、随所に父からの願いと知恵と愛情が籠められている。

ネルーが語るのには暗記をして試験に挑むだけの視野の狭い歴史ではなく、広い視野を持ち、自分たち以外の様々な民族や宗教に目を向けこれまでの人類の営みと私達自身を繋ぐ歴史である。しかし、本書の中でも「歴史を読むのはたのしみ。だが、それよりももっと心をひき、興味があるのは、歴史を創ることに参加することだ。」とあるように過去に遡りながらもネルーの視線は常に彼ら自身が生きていく「現在」に向いている。

ネルー自身が歴史家ではないため、細部では歴史的事実と異なる点があるかもしれないが、獄中で資料にも事欠く中、信念で書き上げる彼の認識力と勉強量に敬服する。

本書のもとである手紙が書かれてから80年ほど経つが、歴史から何が学べるのか、何を学ぶべきなのかと語りかける彼の声は今も新鮮さと智慮に満ちている。

（総合歴史学科 小林豊）

北川恵海『ちょっと今から仕事やめてくる』株式会社 KADOKAWA アスキー・メディアワークス発行（メディアワークス文庫）



“自分の就職先はブラック企業なのではないか”と悩みながら働き続け、疲労しきった主人公の前に、同級生を自称する「ヤマモト」という人物が現れます。彼は、主人公の人生に次々と変化をもたらしていきます。しかし、その正体は・・・？読み終わった時には、すっかりできて心が温かくなる、そんな物語です。

（初等教育学科 宮谷友梨）

貴志祐介『新世界より』（講談社文庫）



1000年後の日本。「神の力」こと「呪力」を得るに至った人類が手にした平和な世界。子供たちは、大人になるために呪力を手に入れなければならない。のどかな生活の中で子供たちは早く大人になるために呪力を身に着

けようと、切磋琢磨している。隠された先史文明の一端を知るまで、ここは汚れなき理想郷のはずだった。

漫画化もアニメ化もされた作品なので知っている方も多いのではないのでしょうか。管理された世界で子供たちは人類が手にした「呪力」とは超能力のことで、一見ファンタジーに見えますが、この話は骨太のSF小説です。喋る巨大ネズミのバケネズミを筆頭に、現在の生物が進化した不可思議な生き物たちは実在していそうなリアリティを持って描かれます。新世界の構造もしっかりした社会学を基盤にしているずっと頭に入ってきます。この世界に隠された謎を、主人公の早季と一緒に解き明かしてみませんか。

（表現文化学科 尾上亜依美）

中田永一ほか著、ダ・ヴィンチ編集部編
『本をめぐる物語 一冊の扉』

(KADOKAWA)



好きなキャラの小説を書いている時だけ、いくらでも自分の世界に浸ることが出来た。けれど、ある日部活の先輩から耳慣れない指摘を受け、自分の作品の弱さを知る。そして、小説がうまくなりたいという思いからある決断をする——（「メアリー・スーを殺して」）

この本は、8人の人気作家が「本」にまつわる物語を描いた短編集です。ひとつひとつの物語は短く、とても読みやすいものとなっています。本好きの方には是非とも読んでもらいたい一冊です。

（表現文化学科 真野咲実子）

木原音瀬『箱の中』 (講談社文庫)



『主人公、堂野崇文は痴漢と間違われ逮捕される。そして、冤罪で訴え最高裁まで争ったため、実刑判決をうけてしまう。入れられた雑居房で一緒になった喜多川圭は、母親に請われるまま殺人犯として服役しているという。そこで堂野が喜多川に与えた優しさは、愛された記憶のない喜多川に初めての愛情を芽生えさせていく。

一見ありえないシチュエーションでの二人の出会いと築かれる関係だが、あまりにもリアリティーある心理描写に違和感なく引き込まれます。男女関係ではなく、一人の人間と人間の深い愛情に包まれている作品です。絶対ハッピーエンドはありえないと分かっている、悲しくて、幸せな人間再生の物語だと思いません。

（表現文化学科 山本真理子）

越谷オサム『陽だまりの彼女』(新潮文庫)



「学年有数のバカ」とイジメられていた幼馴染の真緒と、10年ぶりに再会した浩介。彼女は変貌をとげ、仕事のできる美しい女性となっていた。

2人は再会を喜びながら、再び惹かれあう。そして浩介は、真緒と共に幸せに満ちあふれた毎日を過ごしていく。しかし、彼女は浩介に言えない「秘密」を抱えているようだった…。

人を好きになる温かさや切なさが、たっぷりつまった恋愛小説。真緒の「秘密」が判明するラストでは、驚きと涙があふれました。

（表現文化学科 松尾綾子）

宮沢賢治『新編 銀河鉄道の夜』

(新潮文庫)



小説や絵本、アニメやプラネタリウムを通じてこの作品を知っている人も多いと思います。

独特の世界観を持つ儚くて懐かしい風景は半世紀以上経った今でも多くの人に影響を与え愛されています。

孤独な少年ジョバンニは星祭りの夜に「銀河ステーション」という不思議なアナウンスを聞き、気がつくや銀河鉄道に乗っていました。そこで彼は「人の幸せのために生きる」ことについて悟りながら旅をします。

「本当の幸せ」とは何なのかを考えながら読んでほしい宮沢賢治の童話です。

（生活実践科学科 岡崎花歩）

マイブラリ機能について

図書館 HP を利用しよう! ① 詳細確認&予約編



“今借りている本の返却日がわからなくなった!!”
“借りたい本が貸出中だ!”

そんな時は、マイブラリ機能を利用してみましょう。
自宅や通学中など、学内にいなくても確認や予約をすることが
できる便利な機能です。

Q 1 借りている図書がわからなくなった! ?

① 図書館 HP → メニュー → My Library を選択

ログイン

② アカウントとパスワードでログイン
(学内PCに入るときアカウントとパスワードを入力)

2 入力

利用者IDとパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

利用者ID :

パスワード :

マイブラリでの操作が終了したら、必ずログアウトしてください。
ログアウトするには、画面上部の「ログアウト」ボタンをクリックします。

借用中の資料

③ 借用中の資料
→ **詳細を見る** をクリック

■ 2件の資料を借りています。 **▶▶ 詳細を見る**

Q 2 図書の予約がしたい!

“OPAC で調べたら、貸出中だった!”
大丈夫です。 その場で予約することができます!



地獄変：歴史・王朝物の世界
ジゴクベン：レキン・オウチョウモノノセカイ
海老井英次編
東京：翰林書房, 1999.9
[Amazon.co.jpで詳細を見る](#)

① **予約** ボタンをクリック

ブックマーク

●所蔵:

巻号	予約人数	所在	請求記号	資料ID	資料種別	貸出区分	状況	予約人数	備考
1 <input type="checkbox"/> 第2巻 予約	0	3F第3閲覧室	913.6/Ak/2	001964522	図書		貸出中	0	

予約：入力
入力 ... 確認 ... 完了

② 利用者 ID とパスワードを入力してログイン
(学内PCに入るときのアカウントを入力)

●資料 : 地獄変：歴史・王朝物の世界, 第2巻.
海老井英次編, 翰林書房, 1999 (芥川龍之介作品論集成, 第2巻).

●利用者: 就実 花子

●通信欄:

③ **確認に進む** ボタンをクリック

③

④ 内容を確認 → **この内容で予約**
をクリック

●利用者: 就実 花子

●通信欄:

④

⑤ 予約完了です

⑥ ログアウト *マイライブラリ機能を使った後は、必ずログアウトしましょう。

文庫本を探して見よう！① ～講談社学術文庫編～



“『講談社学術文庫』ってどこにありますか？”
という質問をよく聞きます。

★文庫を探すポイント★

- OPAC で検索 → 所在に **2F文庫コーナー** と表示されたら
- ➔ **巻号** に注目!! 図の①部分
 - ➔ 『**講談社学術文庫**』と表示された場合は
文庫名の **うしろにある数字** が **請求記号** になります
 - ➔ **本の背に手書きで数字が書いてあるシールが貼ってあります**

進化とは何か

シンカトワ ナニカ
今西錦司著
東京：講談社, 1976
[Amazon.co.jp](https://www.amazon.co.jp/)で詳細を見る

ブックマーク

●所蔵:

①	巻号	予約人数	所在	請求記号	資料ID	資料
1	講談社学術文庫 1	0	2F文庫	081/K	001614431	文庫

巻号ブックマーク

●刊年 : 1976

●形態 : 220p ; 15cm

●シリーズ名: 講談社学術文庫

本の背
拡大図

進化とは何か
1

必ず『**文庫名 数字 (シリーズ名・巻号)**』をメモしましょう。
文庫コーナーの配置地図を OPAC コーナーに貼っているの
で、確認しましょう。

リモートアクセスを利用いただくと、ご自宅、帰省先、通学中の車内など、大学の外からでも Maruzen eBook Library を閲覧できるようになります。リモートアクセスの手続きは 3 ステップで完了です。

認証 ID、氏名を登録

確認メールを受け取り
パスワードを登録

学外からアクセス

※アカウントには **90日間** の有効期限があります。有効期限の延長手続きについては、次ページをご覧ください。

Step ① 認証 ID とお名前を登録

① 学内 PC から図書館 HP へアクセスします。
*アクセス先 <http://www.shujitsu.ac.jp/category/toshokan>

② 図書館HPのメニュー画面からe-book (電子書籍) をクリックします。

③ 図書館HP e-bookのメニュー画面で MARUZEN ebook Library をクリックします。

④ MARUZEN ebook Library メニュー画面の右上 就実大学の左側 アカウント をクリックします。

⑤ 認証ID、氏名を入力し、利用規約を確認し、「利用規約に同意して次へ」ボタンをクリックします。
*認証IDは大学から配布されたメールアドレスを入力してください。詳細は図書館までお問い合わせください。

⑥ メールアドレスと氏名が正しいことを確認して「登録」ボタンをクリックします。

Step ② 認証 ID 確認メールを受け取って、パスワードを登録

Step1で登録したメールアドレス宛てに確認メールが届きます。
*確認メール送付元: ebook-guide@maruzen.co.jp

20分以内に確認メールに記載されたURLにアクセスしてください。

認証パスワードを入力して「登録」ボタンをクリックします。
*英数字8桁以上12桁以内 (半角のアルファベット、数字) で入力してください。大文字、小文字は区別されます。
*登録完了メールは配信されません。
認証パスワードはメモ等に控えることをお勧めします。

アカウント登録を完了するには、下記 URL にアクセスして認証パスワードを登録してください。20分以内にアクセスが無い場合は無効となります。

認証パスワードの登録
<https://elib.maruzen.co.jp/elib/html/Regist/Id/hbr/5hhVPjKs6eXsA05eWdpTao3E>

アカウントの作成が完了しました!

Step ① 所属機関の外から Maruzen eBook Library にアクセス

登録した認証IDと認証パスワードを入力して「認証する」ボタンをクリックします。
Maruzen eBook Library ページにアクセスします。

Maruzen eBook Library にアクセスします。
*アクセス先
<https://elib.maruzen.co.jp>

Maruzen eBook Library にアクセスしました。

⚠️ アカウントは延長手続きが必要です ⚠️

アカウントには **90日間** の有効期限があります。
延長手続きは、ご所属機関のパソコンから行うことができます。

〈延長手続き〉

- ① 学内のパソコンから Maruzen eBook Library にアクセスして画面右上のアカウントボタンをクリックします。
- ② 登録した認証ID（メールアドレス）とお名前を入力して「利用規約に同意して次へ」をクリックします。
- ③ 開いた画面で「はい」をクリックします。

利用期限を延長します。名前が認証パスワードを変更しますか？

利用期限の延長のみを行います(①)

利用期限の延長お名前と認証パスワードの変更を行います(②)

【①利用期限の延長のみ行う】

「いいえ」をクリックします。
最後に利用した日に90日間加算されます。

【②利用期限を延長してお名前、パスワードを変更する】

「はい」をクリックします。
開いた画面でお名前、パスワードの変更ができます。「登録」をクリックすると、変更と同時に利用期限が延長されます。

Q アカウントを登録しようとしたのですが、認証 ID がはじかれてしまいます。

A 認証 ID には、大学が許可したメールアドレスを入力することができます。たとえば Yahoo! メールや Gmail、携帯電話など、個人のメールアドレスは入力できません。入力できるメールアドレスを図書館までお問い合わせください。

Q リモートアクセスで Maruzen eBook Library を開いたのですが、アカウントボタンがありません。

A アカウントボタンは学内の端末から閲覧いただいた場合のみ表示されます。利用期限の延長やお名前、パスワードの変更は学内の端末から行ってください。

Q パスワードを忘れてしまいました。

A お使いのアカウントを一度削除してもう一度アカウント登録を行ってください。

〈アカウント削除手順〉

- ① 学内の端末から Maruzen eBook Library にアクセスして「アカウント」ボタンをクリック
- ② 認証 ID とお名前を入力して「利用規約に同意して次へ」をクリック
- ③ 開いた画面で「いいえ」をクリックします。
- ④ アカウントが削除されました。

図書館サポーター募集中!

図書館のお仕事を
体験してみませんか?

- 主な仕事： 図書館行事の補助（図書館セミナースタッフ）
図書館グッズの作成（貸出袋、しおり、ブックカバーなど）
POPの作成、館内掲示物の作成
利用案内補助
ブックハンティング … 等々

絵を描くことが好き、本が好き、図書館の仕事を体験してみたい、図書館でこんなことができたらいいな…。興味のある方は、お気軽に図書館スタッフへお声かけください!

開催予告①

平成28年度 図書館セミナーのご案内

「岡山城 - 天守・櫓・石垣から見える名城の真価」

三浦 正幸氏（広島大学大学院文学研究科 教授）

日時：平成28年10月29日（土）13時より

場所：就実大学・就実短期大学図書館

※内容は全て予定です。正式なご案内は夏頃を予定しております。



開催予告②

平成28年度 ブックハンティング 春と秋に開催します!

実施時期：【春】5月中旬から6月上旬

【秋】11月中旬から12月上旬

場所：丸善 岡山シンフォニービル店、紀伊國屋書店 クレド岡山店

告知方法：ポスターやHPにて募集します。

好きな本を選んでみたい! 就活に必要な本がほしい! 卒論に必要な本がない! と思っている学生の皆さん、どうぞご参加ください。

共翔 第23号

編集・発行
就実大学・就実短期大学図書館

平成28年1月31日発行

〒703-8258 岡山市中区西川原1-5-22 TEL(086)271-8134 FAX(086)271-8275
ホームページ <http://www.shujitsu.ac.jp/category/toshokan>

※館報の題字は押谷善一郎名誉教授の書によるものです。